

令和4年11月4日
健康福祉部児童家庭課
043-223-2325
教育庁教育振興部児童生徒安全課
043-223-4066

ヤングケアラー県内実態調査の結果概要（速報値）について

ヤングケアラー県内実態調査における児童生徒アンケート結果概要（速報値）がまとまりましたのでお知らせします。

大学生調査及び学校調査、市町村要保護児童対策地域協議会調査結果については「ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究第2回委員会」（令和4年12月頃開催予定）までに集計し、支援策検討に活用してまいります。

1 調査概要

（1）調査対象者

	対象数	回答数	回収率
① 千葉市立を除く全公立小学校の6年生全員、協力の得られた私立小学校の6年生（計642校）	43,780人	4,414件	10.1%
② 千葉市立を除く全県立・市町村立中学校の2年生全員、協力の得られた私立中学校の2年生（計313校）	41,814人	3,927件	9.4%
③ 千葉市立を除く全県立・市立高等学校の2年生全員、協力の得られた私立高等学校の2年生（計128校）	31,038人	3,051件	9.8%

（2）調査方法

学校経由で児童生徒・保護者宛てへ依頼文を配布し、URLやQRコードからウェブ上で回答

（3）調査期間

令和4年7月8日（金）から8月5日（金）（回答締切：8月1日（月））

2 結果概要 ※詳細は別添資料のとおり

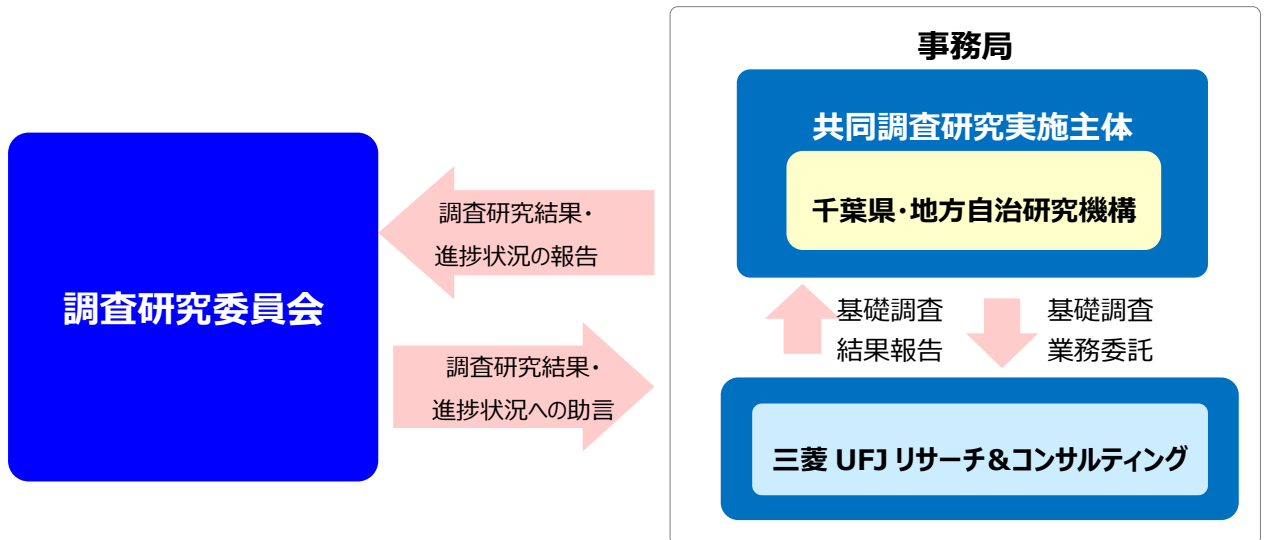
- お世話をしている人が「いる」と回答したのは、小学6年生が14.6%、中学2年生が13.6%、高校2年生が10.5%であった。
- お世話している人が「いる」と回答したうち、「お世話について誰かに相談した経験がある」と回答したのは、小学6年生が8.2%、中学2年生が6.8%、高校2年生が9.1%であった。

3 問い合わせ

健康福祉部児童家庭課 043-223-2325

4 調査研究委員会について

実態調査結果については「ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究第2回委員会」（令和4年12月頃開催予定）において、以下の委員より意見・助言をいただく予定です。



「ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究」委員名簿

<委員長>

結城 康博 淑徳大学 総合福祉学部 教授

<委員>

稲垣 美加子 淑徳大学 総合福祉学部 教授

渡辺 道代 東洋大学 ライフデザイン学部 准教授

朝比奈 ミカ 中核地域生活支援センター がじゅまる センター長

小谷 和雄 流山市 子ども家庭課長

加藤 孝雄 千葉県立生浜高等学校長

川島 隆太 千葉県スクールソーシャルワーカー

篠塚 かおる 千葉県 児童家庭課長

荒金 誠司 千葉県 教育庁 児童生徒安全課長

三宅 正芳 一般財団法人地方自治研究機構 調査研究部長